

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。 ※  内は、ロットNo.表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲**注意** …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲**注意**

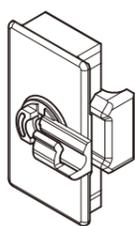
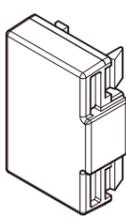
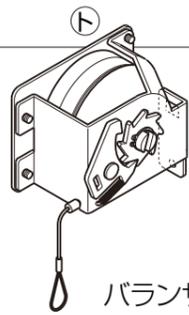
- 本製品は複層ガラスを使用するため、かなりの重量がかかります。障子の外れ・落下防止のため、下記事項をお守りください。
 - ・窓台は45×100mm以上、間柱は30mm以上の材料で開口部を作ってください。
 - ・開口部を付け枠などでふかす（調整する）場合は、一体物と同じ強度になるよう取付けてください。
 - ・指定のスクリーディング・木ねじで枠を固定してください。
- 障子が勢いよく開いて、ケガ・部品破損の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・障子は必ず枠を立てた状態で建込んでください。
 - ・障子建込み後は、枠固定時までクレセントを掛けておいてください。
- 漏水防止のため、下記事項をお守りください。
 - ・本製品取付け後、枠と躯体の取合わせ部に防水テープ（別売り）を張ってください。防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。

■取付け上のおお願い

- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶついたりこすったりしないでください。
- 樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通したりするおそれがあります。
- 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
- バランス部品箱は別売りです。

■部品・ねじ一覧表

※本文図中の①～⑤は、部品・ねじの種類を示します。

| | | | | | | |
|---|---|---|--|---|---|---|
| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | バランス取付け用 | |
|  |  |  |  |  |  |  |
| スクリーディング φ2.1×32 | 皿木ねじ φ3.1×20 | アーム スライダー | 障子 ストッパー | トラス小ねじ M4×6 | バインド小ねじ M4×10 | バランス |

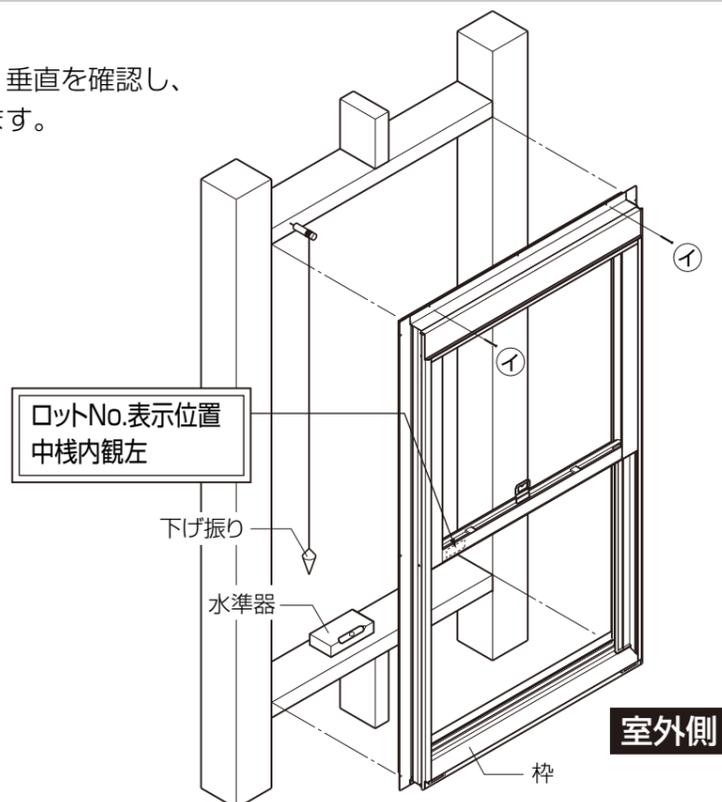
■取付け順序

- 1 枠の仮止め
- 2 枠の調整と固定
- 3 バランスの取付け
- 4 FIX部のガラス入れ
- 5 障子の建込み
- 6 バランスの調整
- 7 上枠カバー材の取付け

■取付け詳細

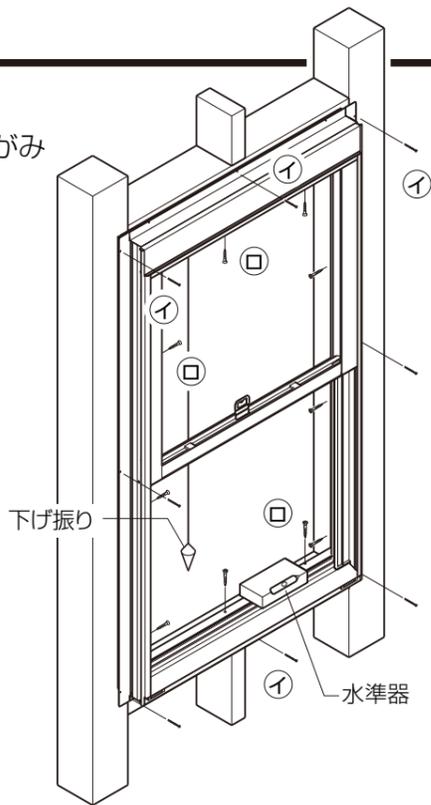
1 枠の仮止め

- 開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。



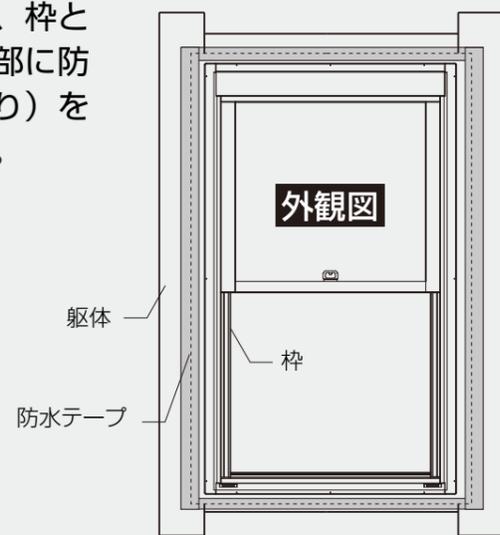
2 枠の調整と固定

- 下げ振り・水準器で枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、固定します。
- ※ 固定後、必ず balans の調整を行ってください。
- ※ 枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。開閉不良の原因になることがあります。



▲ 注意

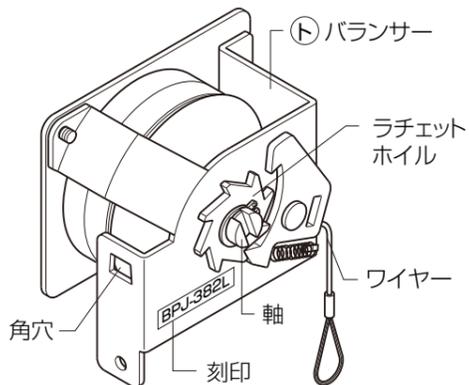
- 本製品取付け後、枠と躯体の取合わせ部に防水テープ（別売り）を張ってください。



3 バランサーの取付け

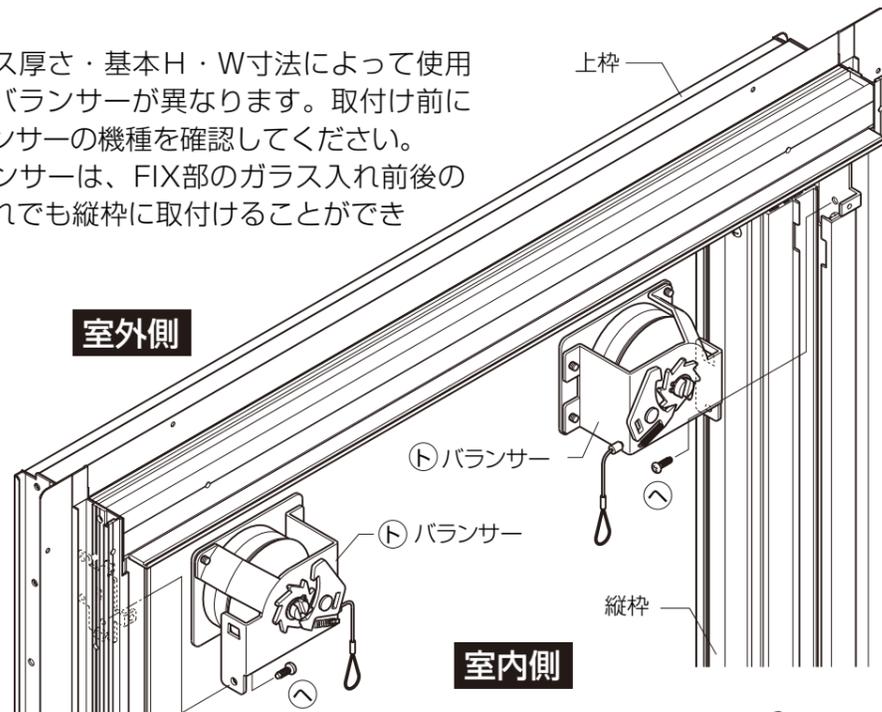
お願い

- ※ 障子建込み前に balancer のワイヤーを引き出したり、ラチェットホイールを回したりは絶対にしないでください。障子が建て込めなくなったり、balancer が破損したりすることがあります。
- ※ balancer の正面に部品番号の刻印がありますので、その末尾で、L（内観左）・R（内観右）を確認してください。



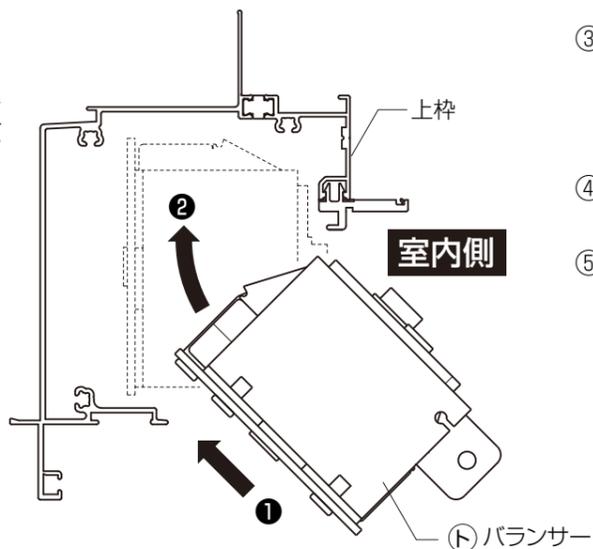
- ※ ガラス厚さ・基本H・W寸法によって使用する balancer が異なります。取付け前に balancer の機種を確認してください。
- ※ balancer は、FIX部のガラス入れ前後のいずれでも縦枠に取付けることができます。

室外側



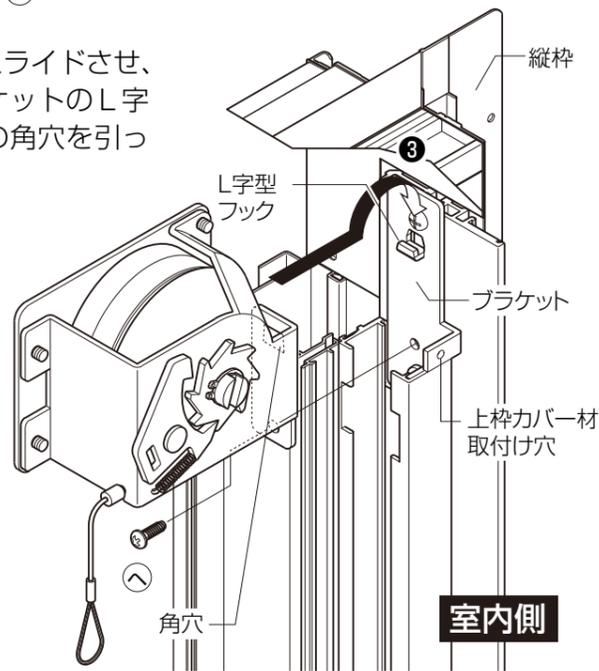
室内側

- ① バランサーを45°傾けて、上枠に差込みます。
- ② バランサーの軸が室内側正面を向くように回転させて上枠に納めます。



室内側

- ③ バランサーを縦枠側にスライドさせ、縦枠についているブラケットのL字型フックに balancer の角穴を引っ掛けます。
- ④ バランサーをブラケットにねじ止めします。
- ⑤ 同様にもう一方の balancer を取付けます。

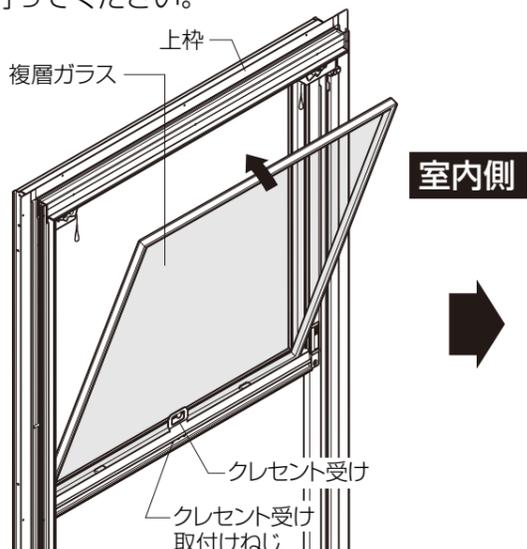


室内側

4 FIX部のガラス入れ

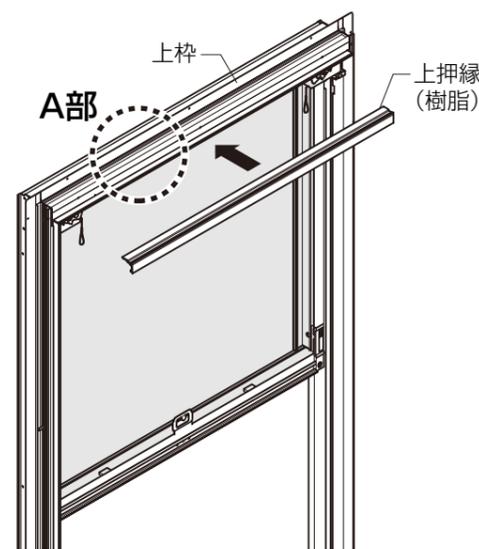
- ※ 面格子付上げ下げ窓（SH）の場合は、ガラスを入れる前に面格子の取付けを行ってください。

- ① ガラスを入れます。
- ※ ガラスが厚くクレセント受けに当たって入らない場合は、クレセント受け取付けねじを緩めてください。（クレセント受けは外さないでください。）

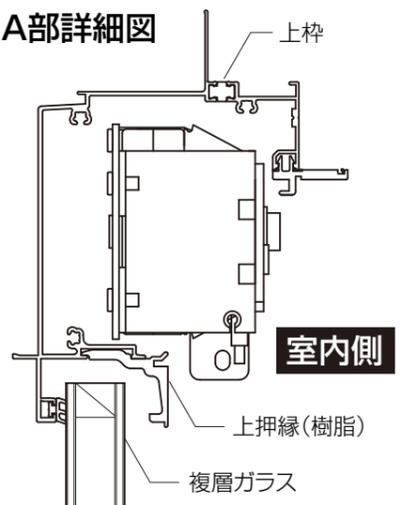


室内側

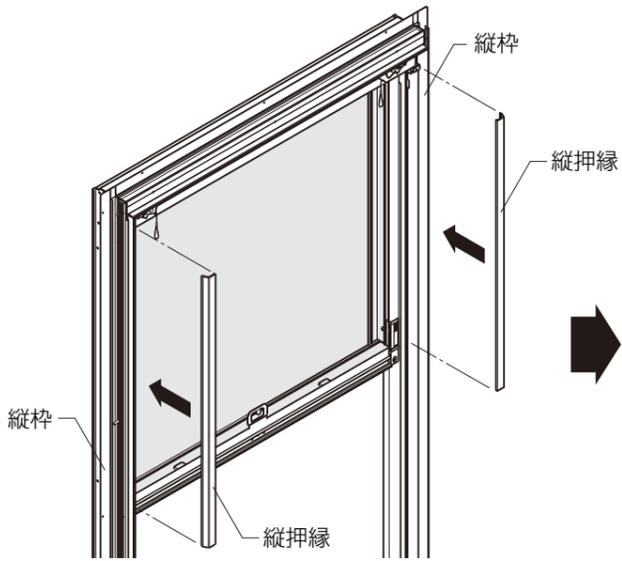
- ② 上押縁を取付けます。



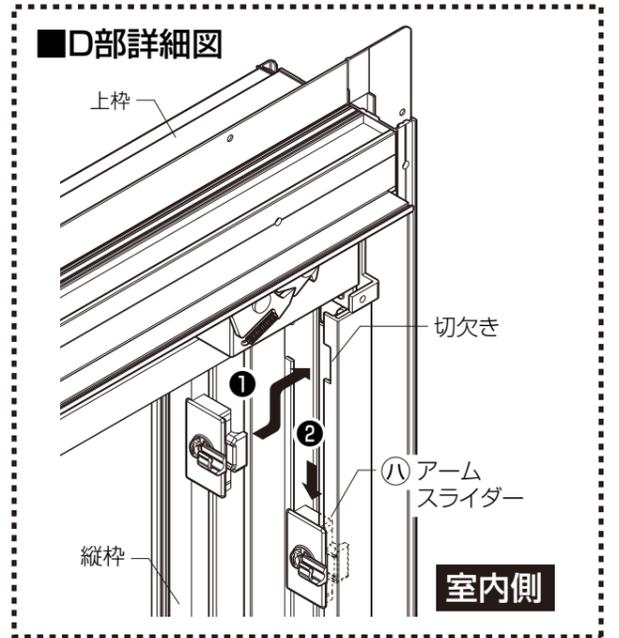
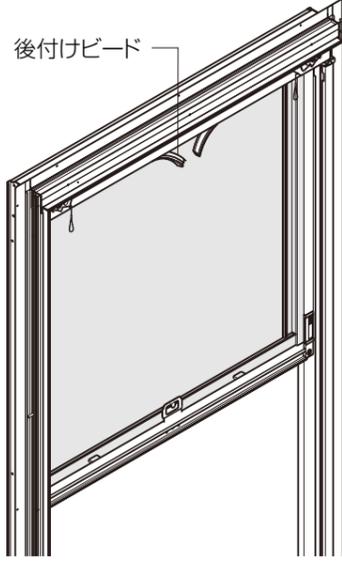
■ A部詳細図



③縦押縁を取付けます。

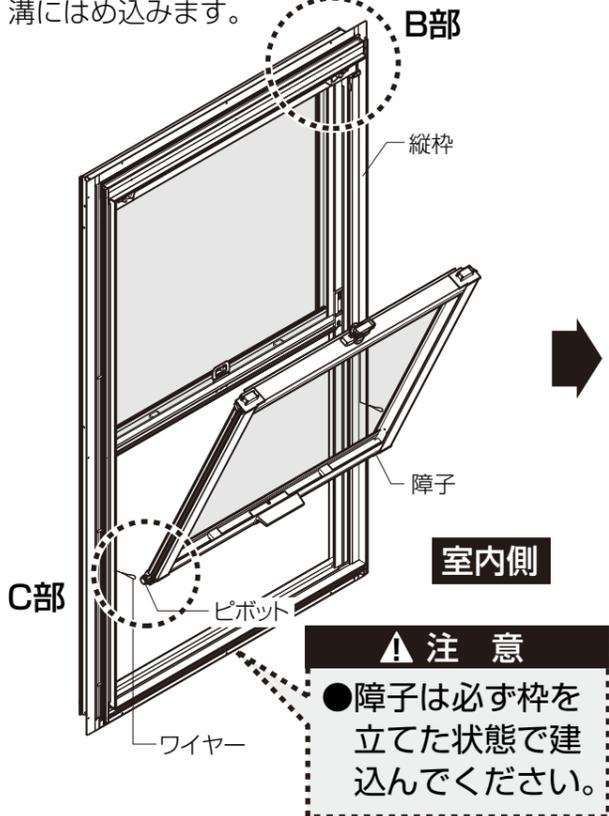


④後付けビードを回します。

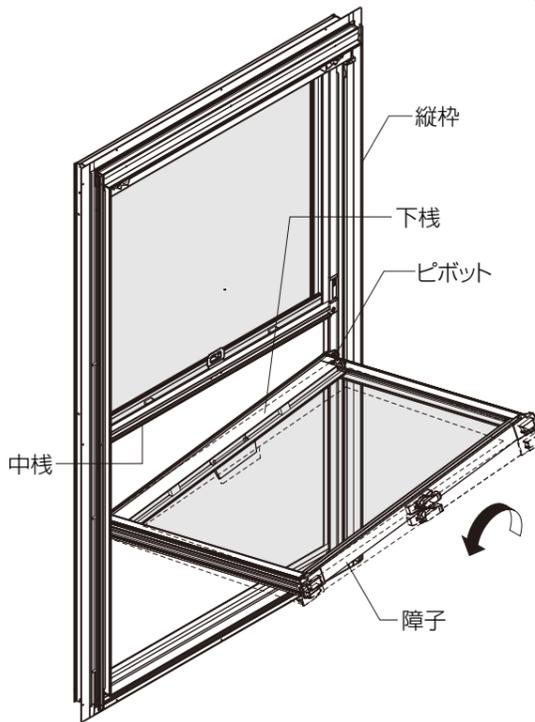


5 障子の建込み

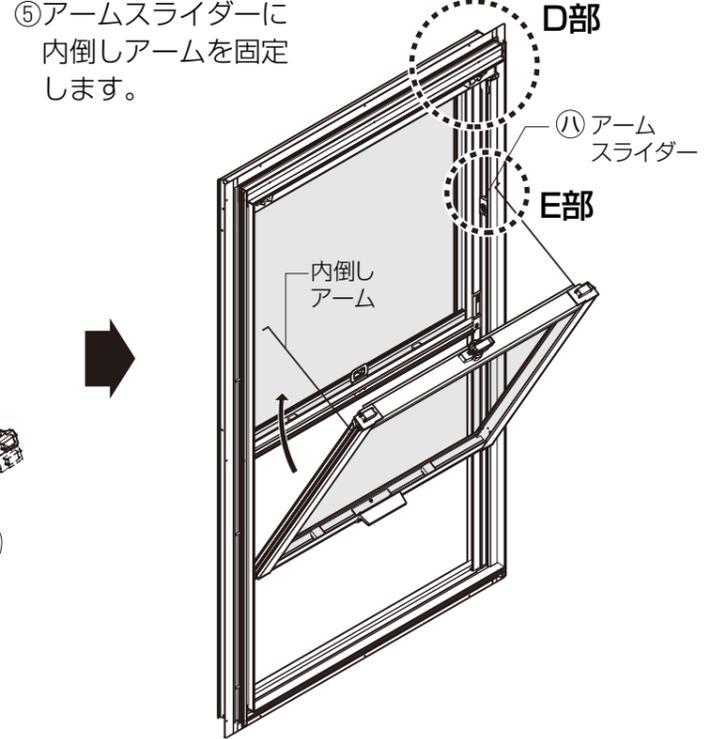
- ①バランサーに引っ掛かっているワイヤーを外し、縦枠内に垂らします。
- ②ワイヤーの先端をピボットの溝にはめ込みます。



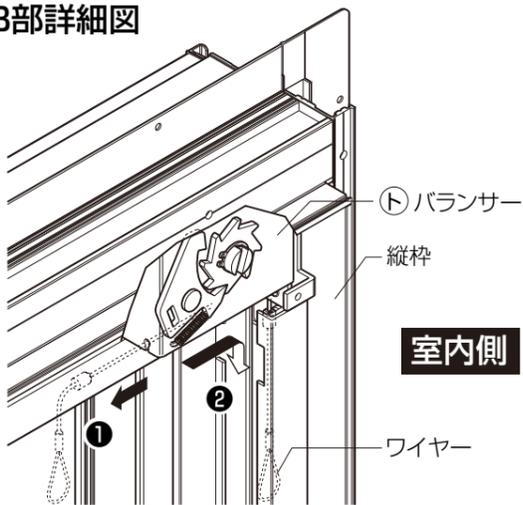
- ③障子の下枠を中棧より下に引き下ろし、障子を斜めにしてピボットを縦枠の中に差込みます。



- ④アームスライダーを縦枠の切欠きから差込みます。
※H907未満には内倒しアームがついていませんので、アームスライダーは使用しません。
- ⑤アームスライダーに内倒しアームを固定します。



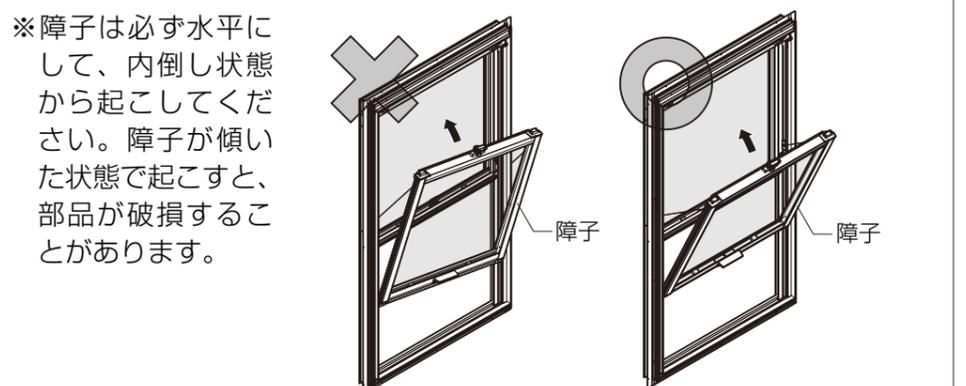
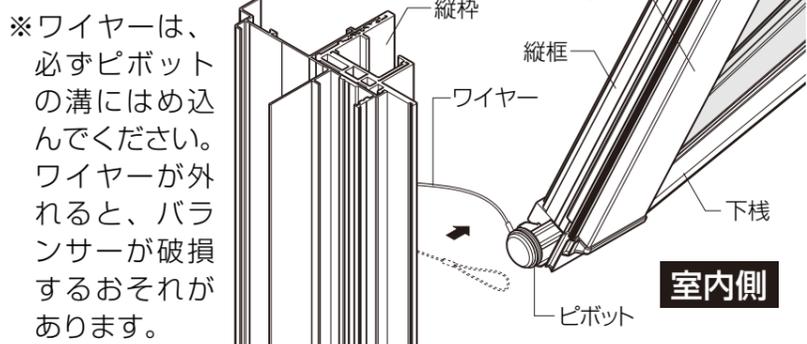
B部詳細図



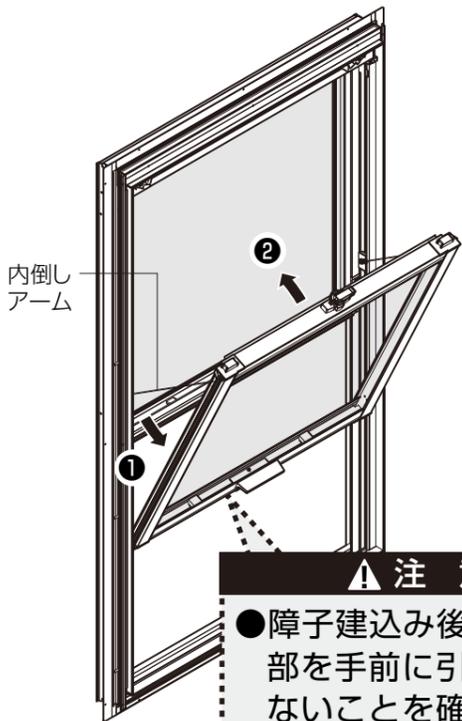
E部詳細図



C部詳細図



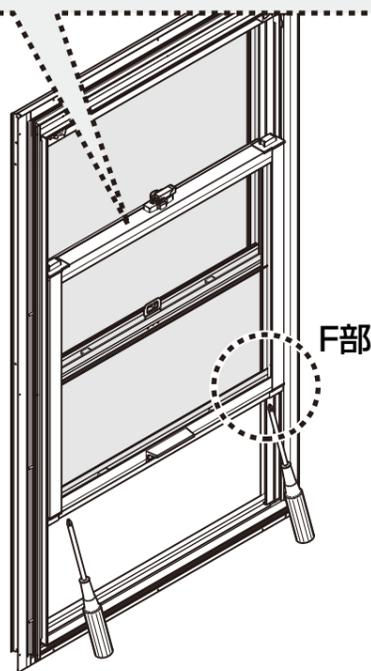
⑥内倒しアームを押し下げながら
 (1) 障子を起こし、「カチッ」という音がするまで室外方向に押し付けます。(2)



注意
 ●障子建込み後、障子上部を手前に引いて外れないことを確認してください。

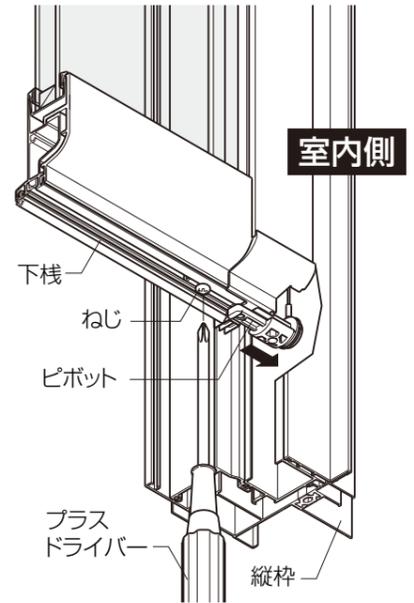
⑦ピボットのねじ位置を調整します。

注意
 ●障子建込み後は、枠固定時までクレセントをかけておいてください。



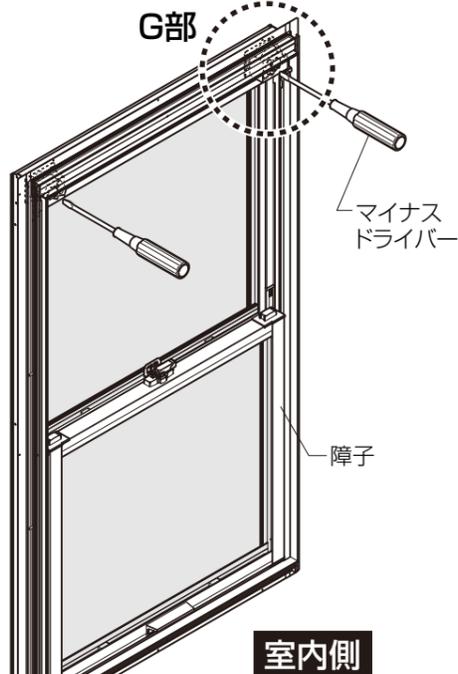
F部詳細図

- ①ピボットが左右に動く程度にねじを緩めます。
 - ②ピボットを縦枠側にずらしてねじを締めます。
 - ③左右とも固定した後、障子が1mm程度のガタツキになっていることを確認します。
- ※まったくガタがないと施工状態などによっては開閉が重くなる場合があります。



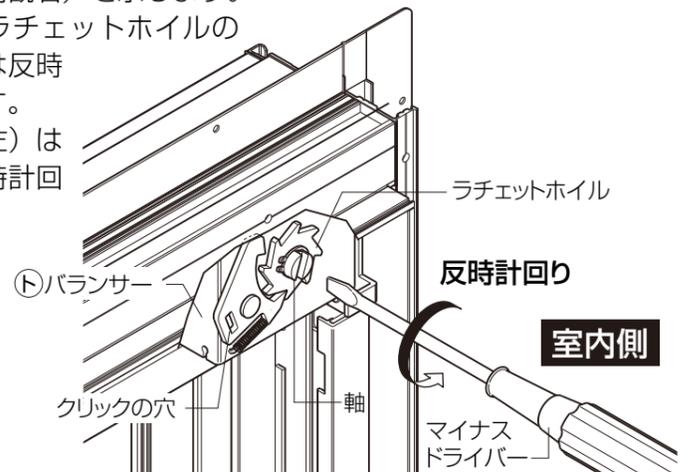
6 バランサーの調整

- ※バランサーの調整は、枠固定後にも必ず行ってください。
- ①障子を一番下に下げます。
- ②障子の上げと下げの力がほぼ同じになるよう、バランサーのラチェットホイールの軸をマイナスドライバーで回して調整します。
- ※左右とも同じ回転数にしてください。ラチェットホイールを回しすぎたときは、クリックの穴にマイナスドライバーを差込んで回し、戻してください。



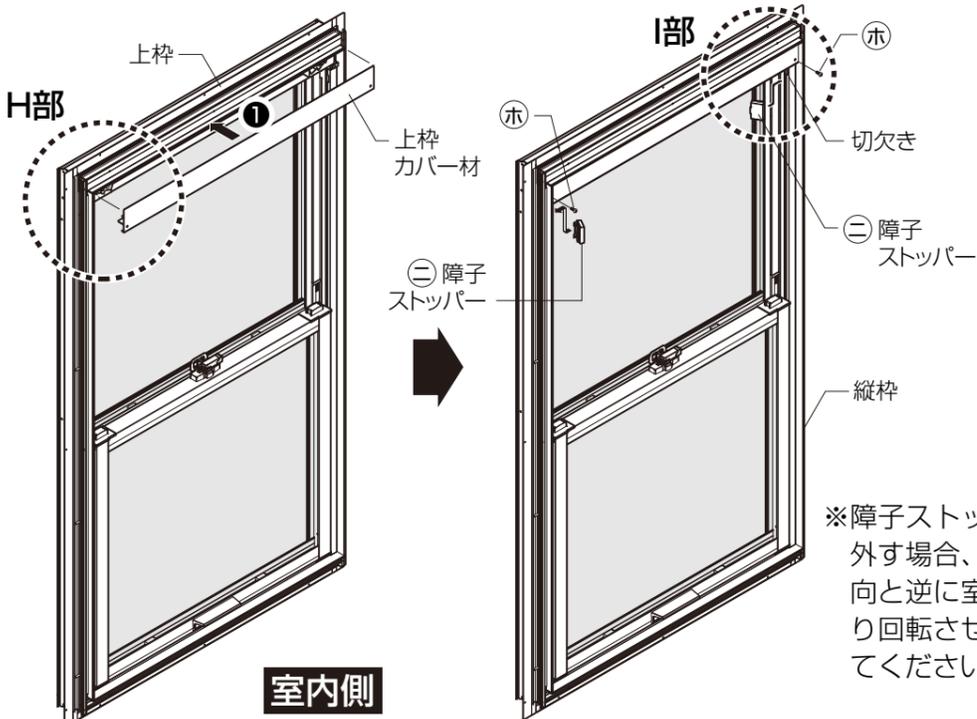
G部詳細図

- ※図はR (内観右) を示します。このときラチェットホイールの回転方向は反時計回りです。
- ※L (内観左) は逆回転 (時計回り) です。



7 上枠カバー材の取付け

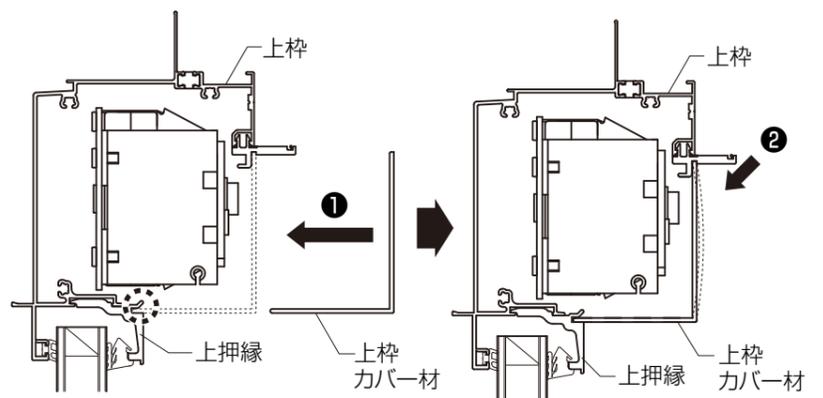
- ①上枠カバー材を上押縁の溝に押し当てます。(1)
- ※左右の角度を傷付けないようにしてください。
- ②矢印部を押し上枠カバー材をたわませながら(2)、上枠の溝にはめ込みます。
- ③上枠カバー材を上枠カバー材取付け穴にねじ止めします。
- ④障子ストッパーを縦枠の切欠きに室内側よりひっかけ、「パチン」と音がするまで押し付けます。



※障子ストッパーを外す場合、図の方向と逆に室外側より回転させて外してください。

H部詳細図

- ※上枠カバー材を外す場合、取付けねじを外しても上枠カバー材が外れないときは、下記同様に上枠カバー材をたわませて外してください。



I部詳細図

